

2022年3月期 決算説明資料

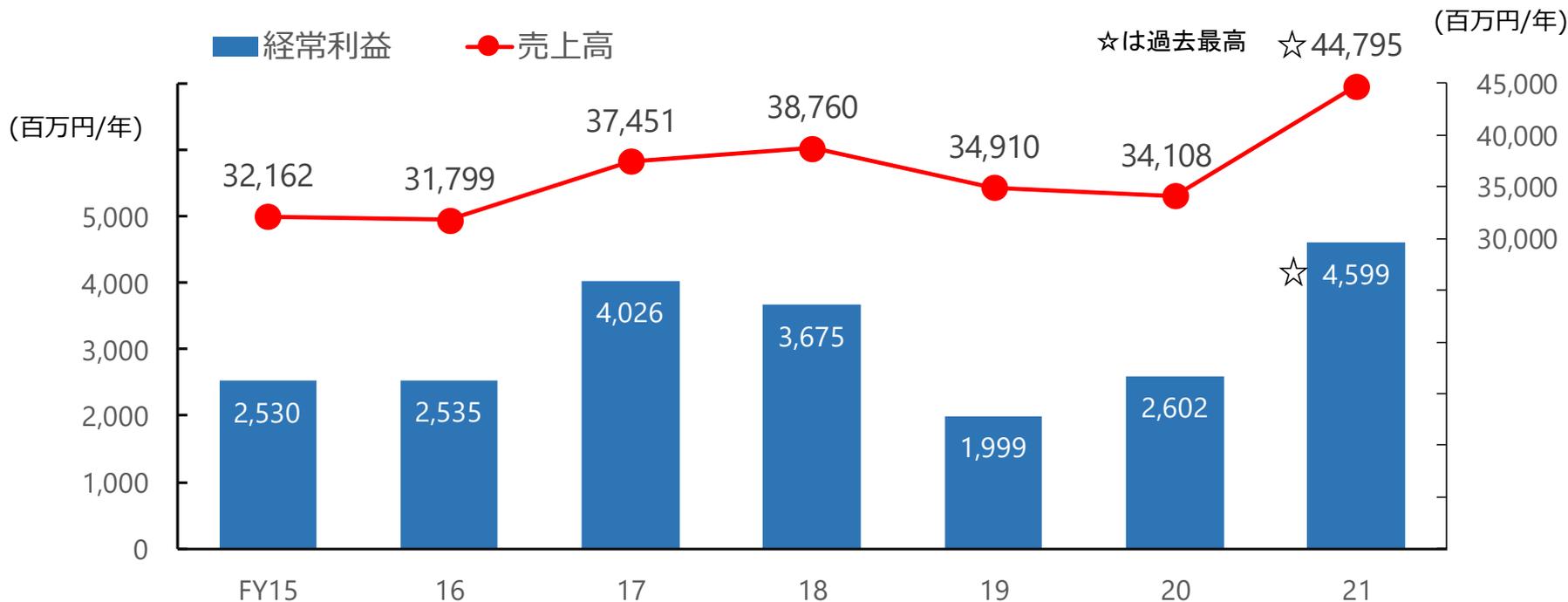
2022年4月27日

Micro&Fine Technology

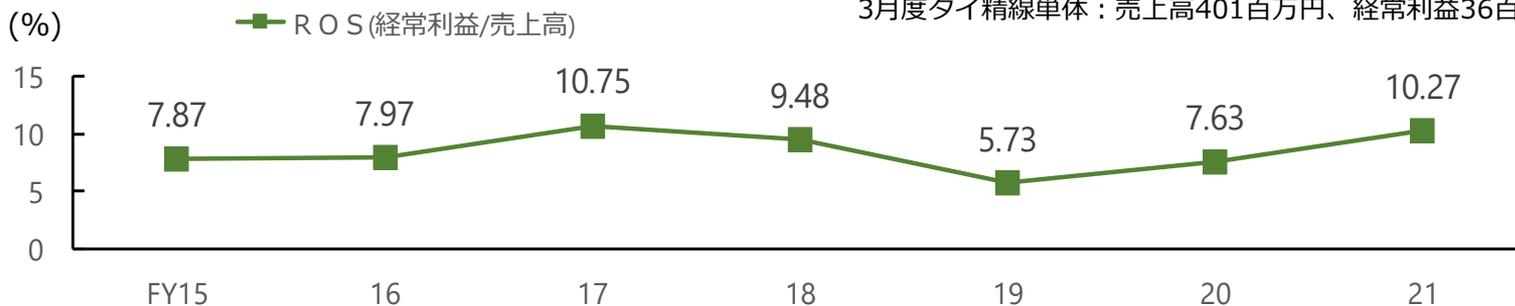


日本精線株式会社

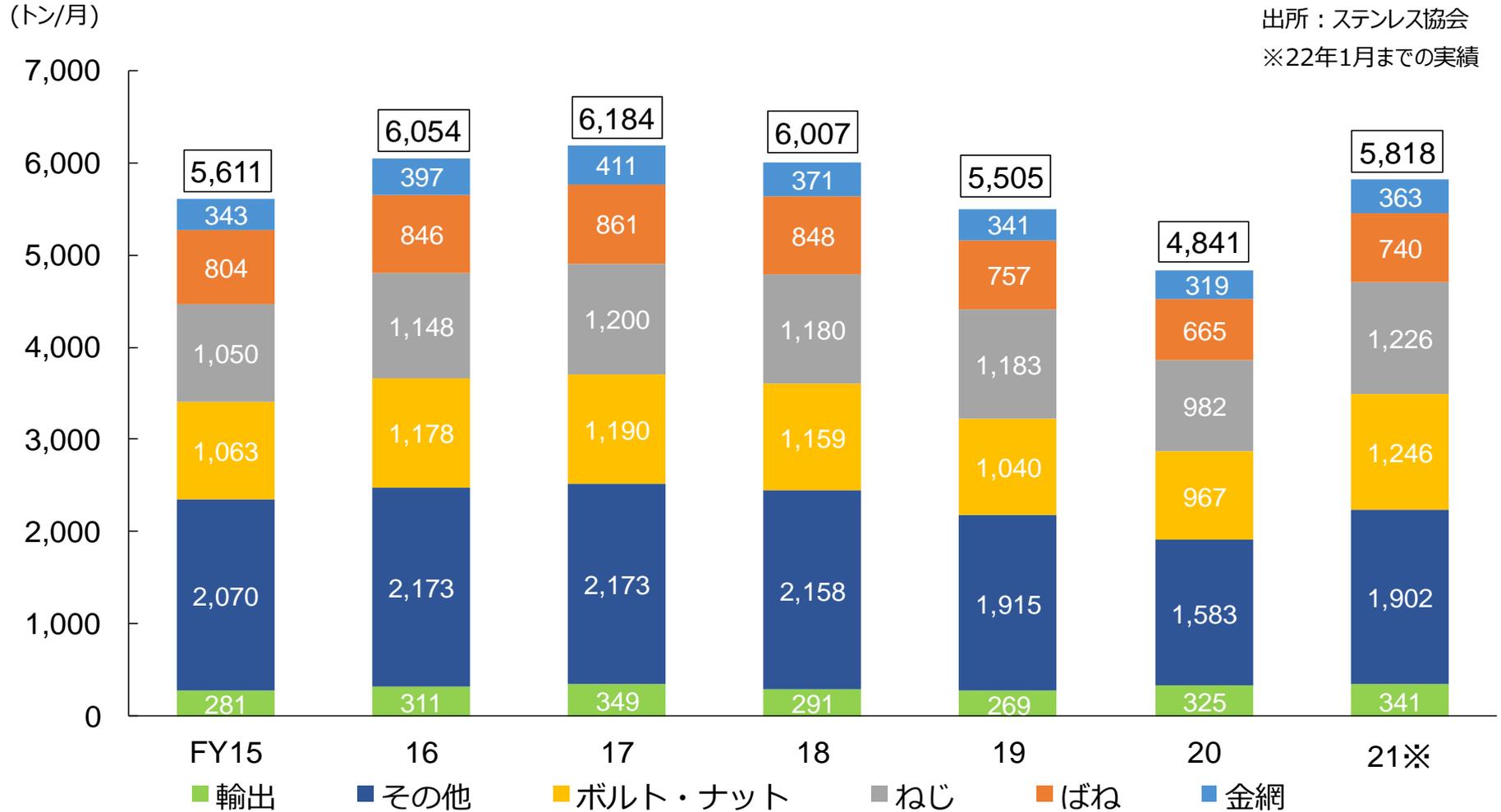
連結売上高・経常利益推移



※タイ精線の決算期を変更 (2月→3月)
 21/1Qのみ4カ月分計上。
 3月度タイ精線単体：売上高401百万円、経常利益36百万円



業界出荷数量の推移(ステンレス鋼線)

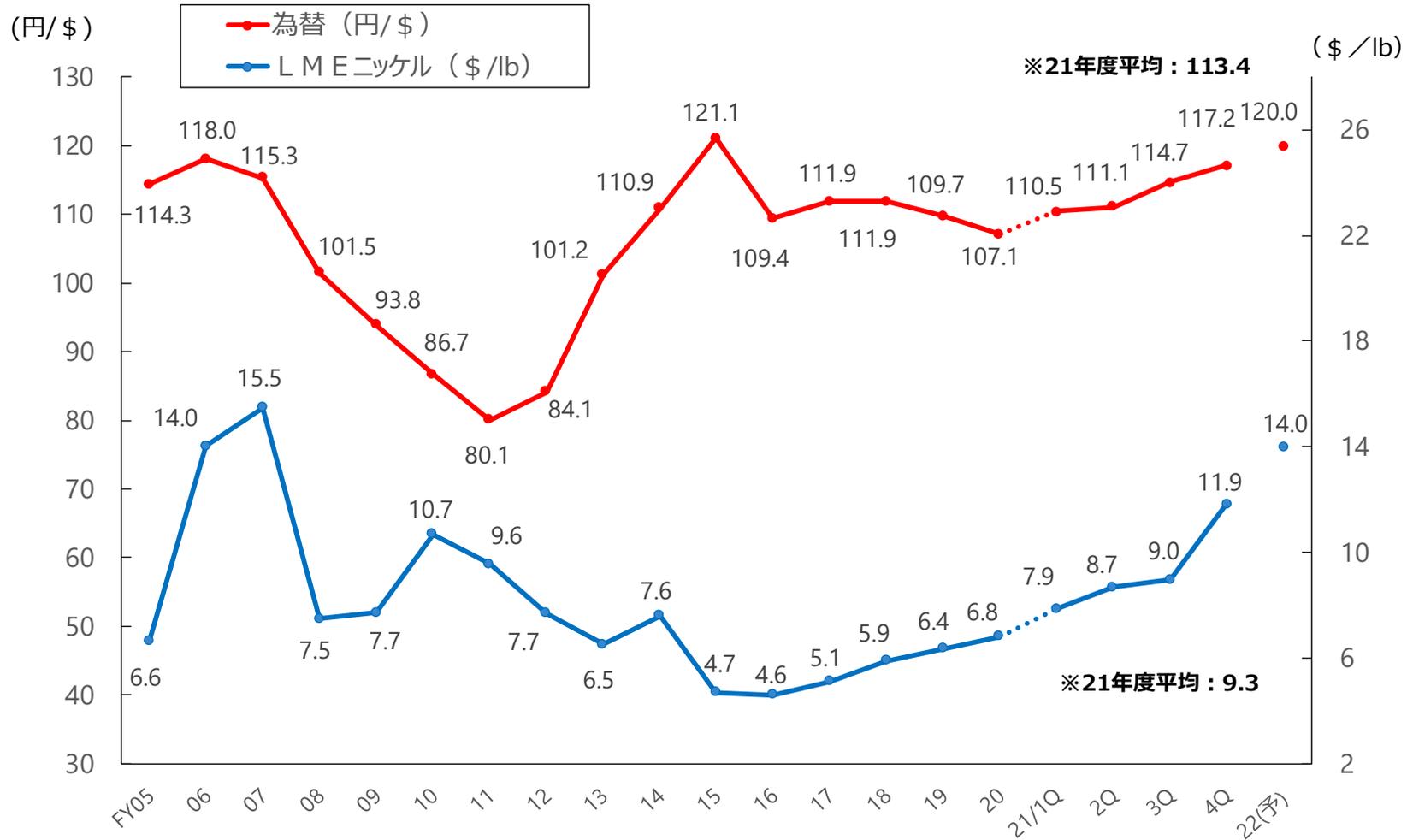


部門別売上高の状況(ステンレス鋼線)



※タイ精線のみ21/3~22/3月の13カ月分を12カ月分に補正して計上。

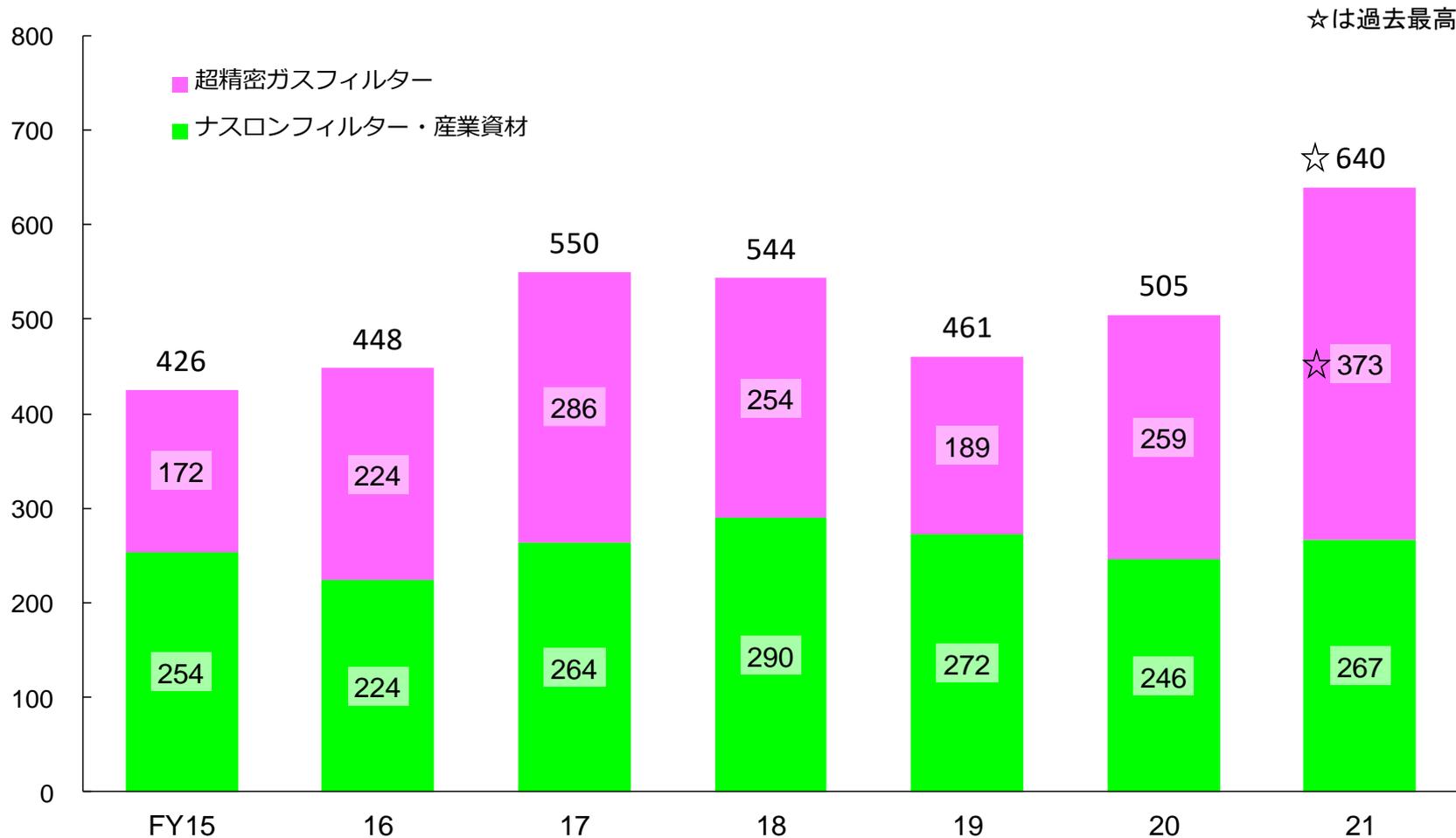
LMEニッケル価格・為替推移



21年度のニッケル価格は、1Q・7.9ドル → 4Q・11.9ドルまで上昇。
 足元はウクライナ情勢やEV車の伸長による需要増等の影響により15ドルで推移。

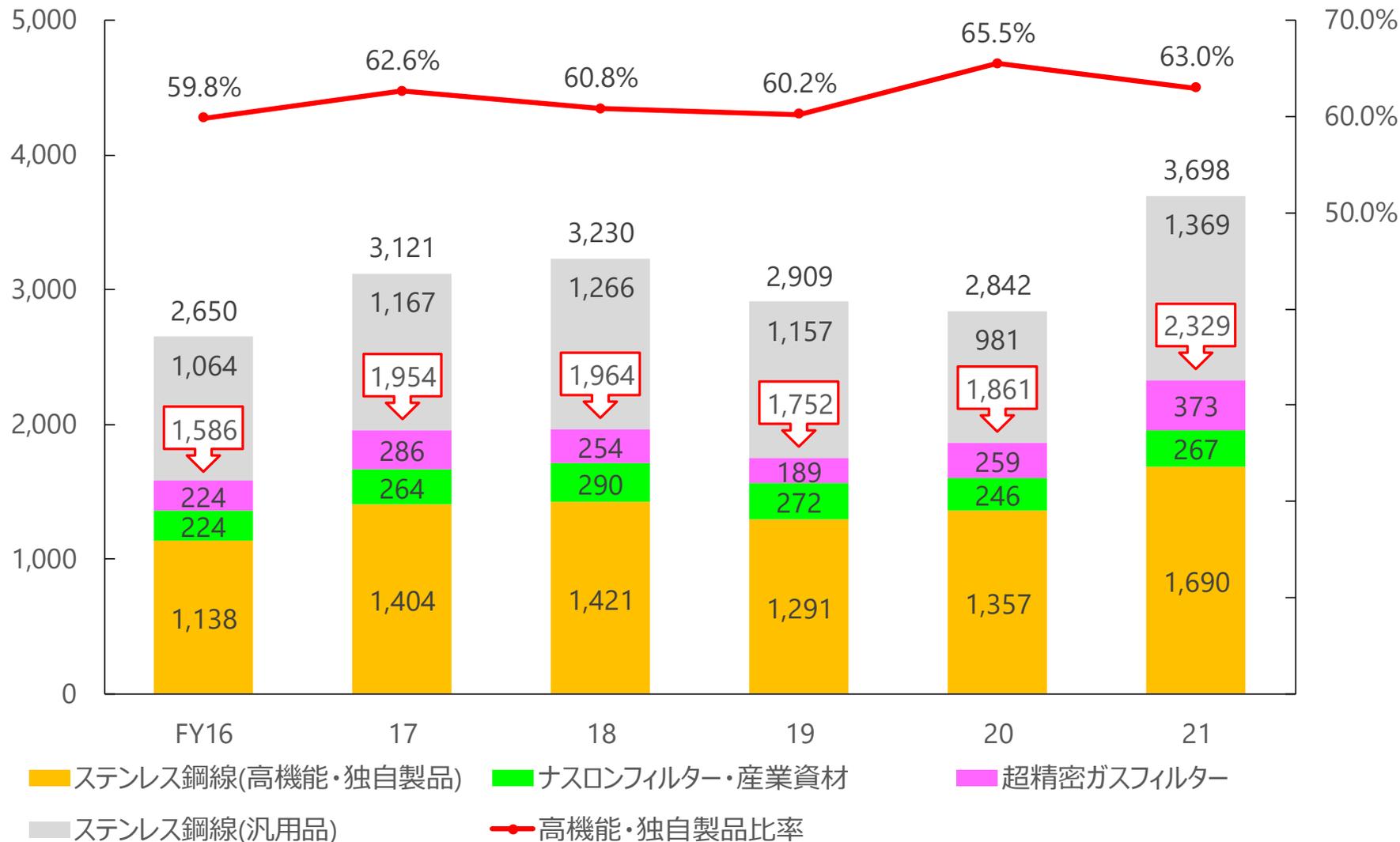
部門別売上高の状況(金属繊維)

(百万円/月)



高機能・独自製品の売上高

(百万円/月)



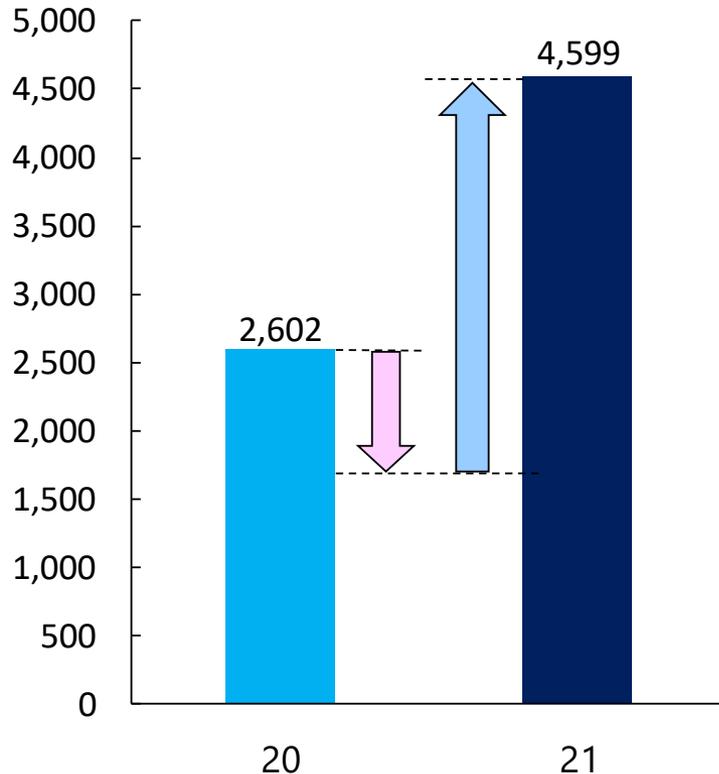
※タイ精線のみ21/3~22/3月の13カ月分を12カ月分に補正して計上。

経常利益の変化要因(前年対比)

【ロッド価格の前提】

	Ni(\$/lb)	為替(円/\$)
20年度	6.8	107.1
21年度	9.3	113.4

(百万円/年)



(百万円/年)

20年度経常利益		2,602	
対比変化	営業損益	Ni市況	- / +520
		数量変化	- / +1,400
		内容差	- / +960
		固定費	▲ 665 / -
		合計	▲ 665 / +2,880
	営業外損益	▲ 218 / -	
21年度経常利益		4,599(1,997)	

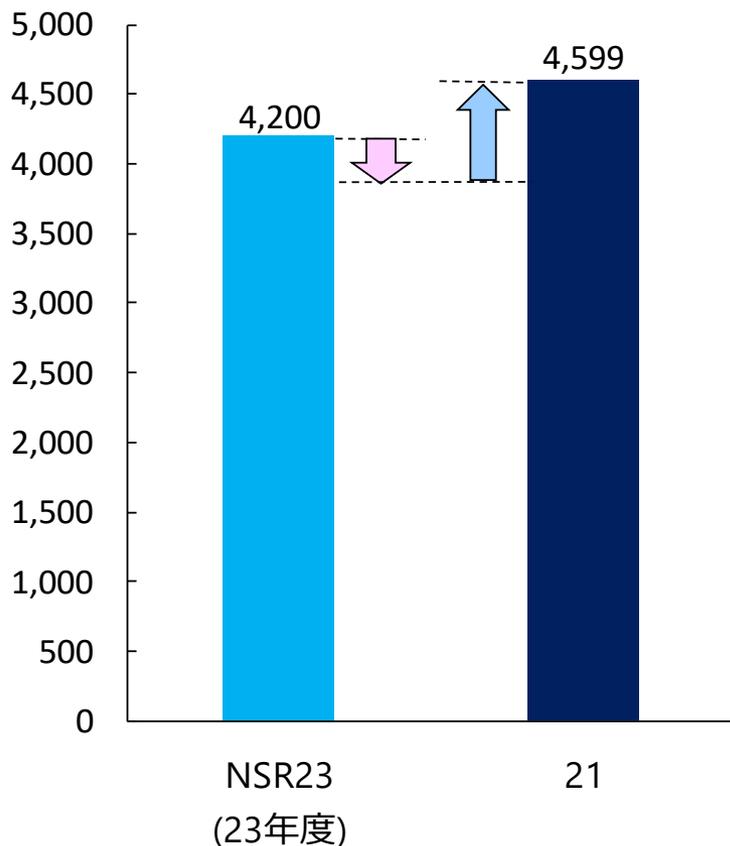
経常利益の変化要因(中期計画対比)

【ロッド価格の前提】

	Ni(\$/lb)	為替(円/\$)
NSR23	7.8	110.0
21年度	9.3	113.4

(百万円/年)

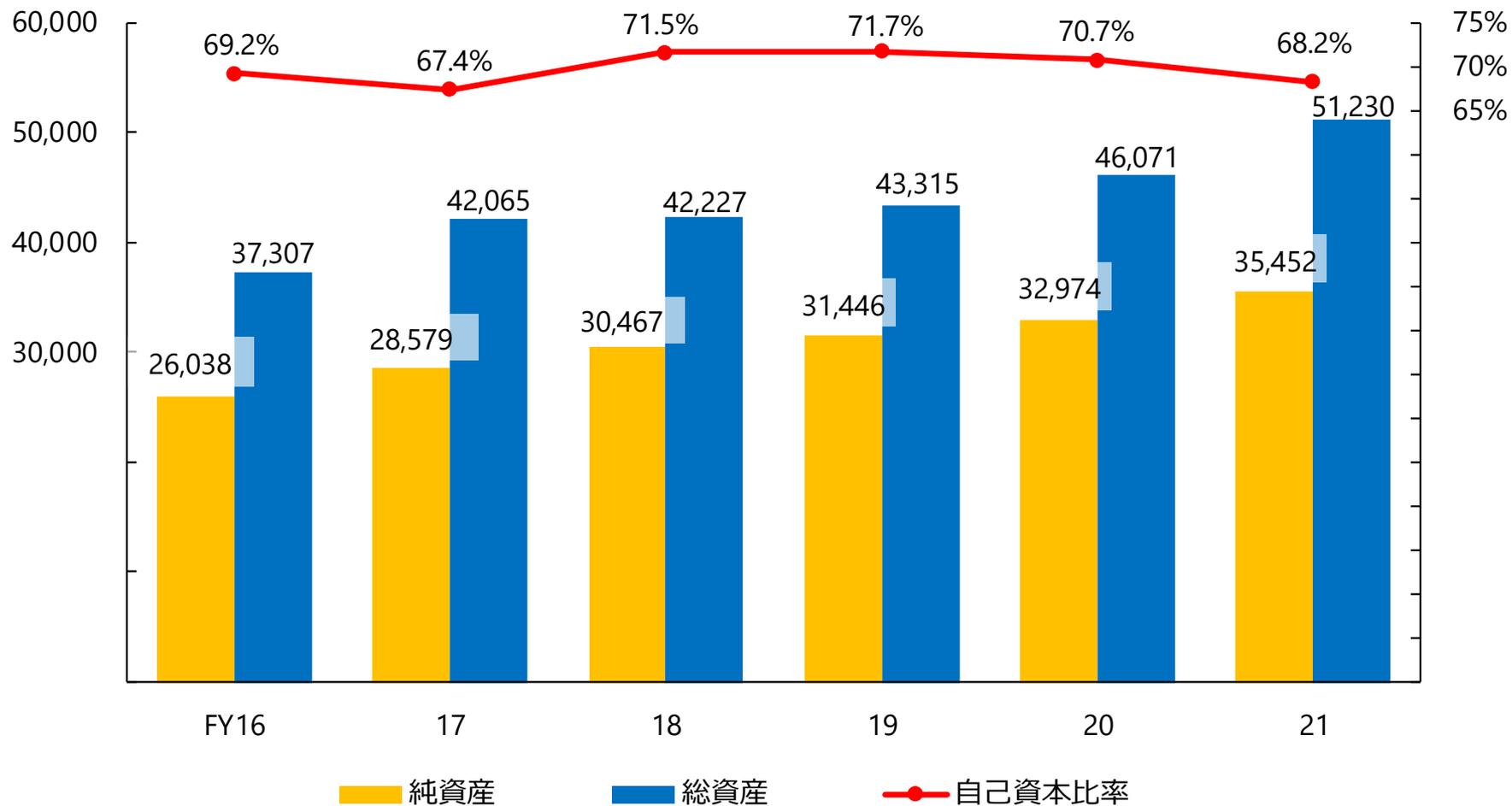
(百万円/年)



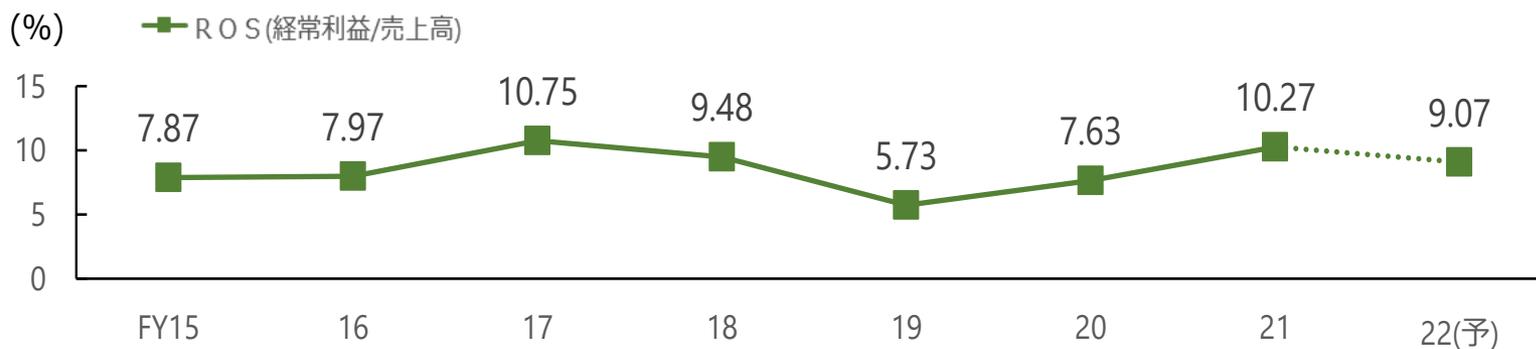
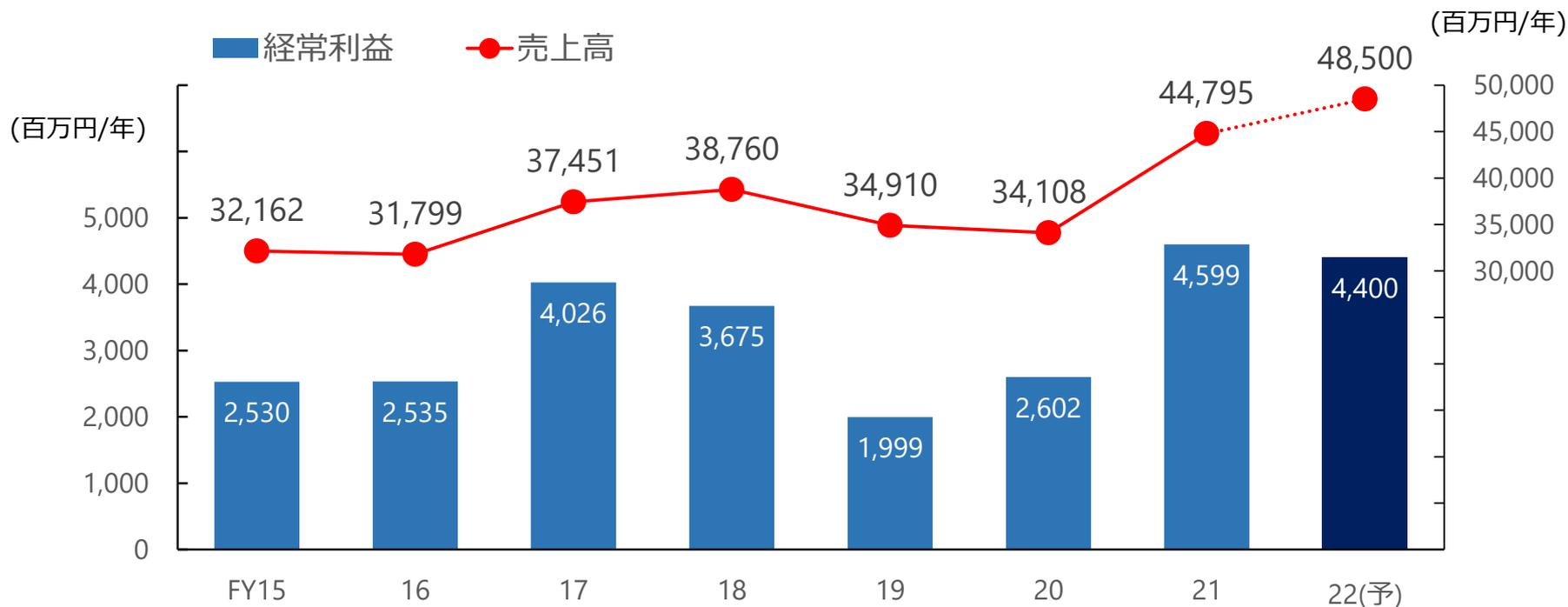
NSR23(23年度)経常利益		4,200		
対比変化	営業損益	Ni市況	-	+350
		数量変化	-	+200
		内容差	-	+160
		固定費	▲ 315	-
	合計	▲ 315	+710	
	営業外損益	-	+4	
21年度経常利益		4,599(399)		

総資産・純資産・自己資本比率

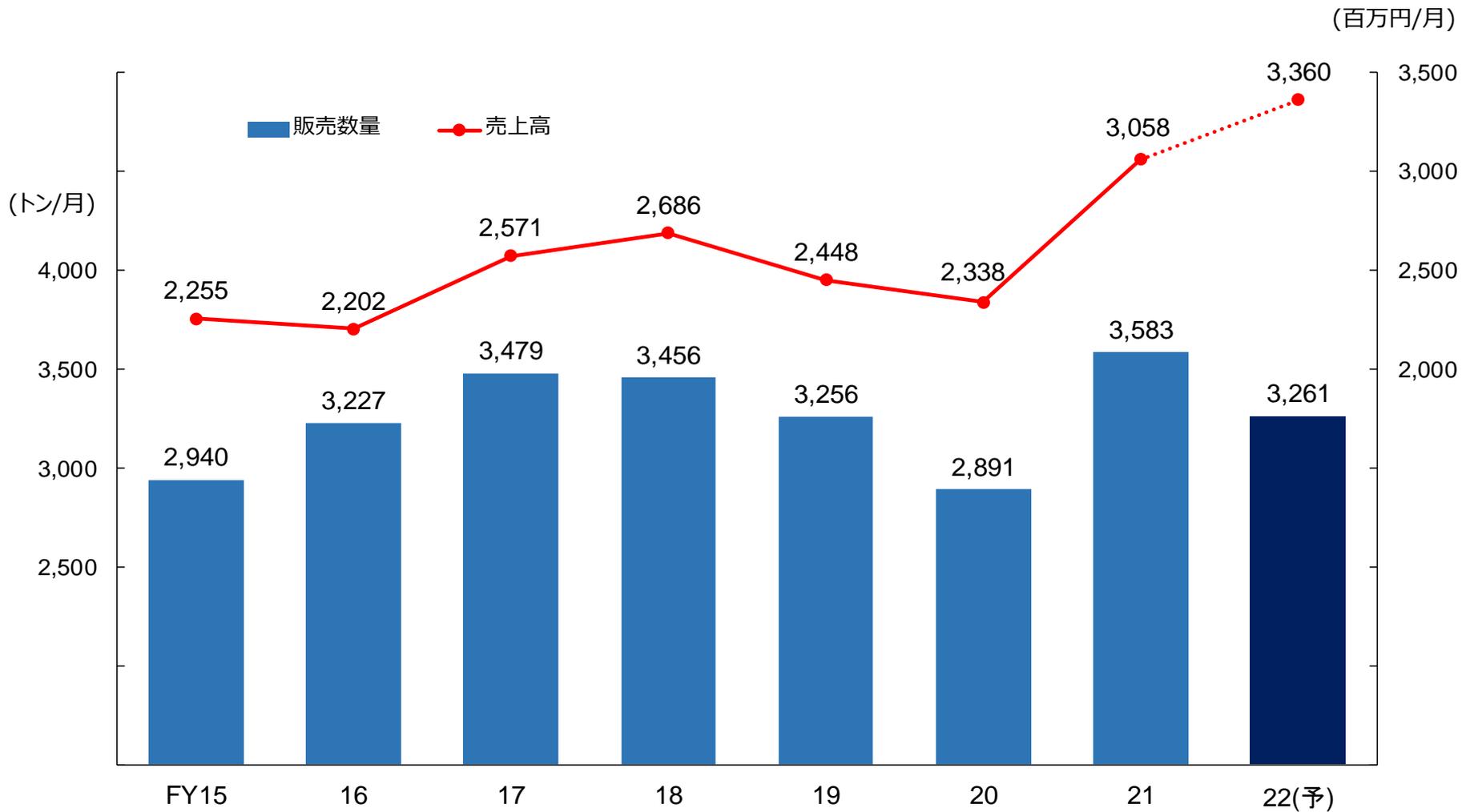
(百万円)



22年度 連結業績見通し

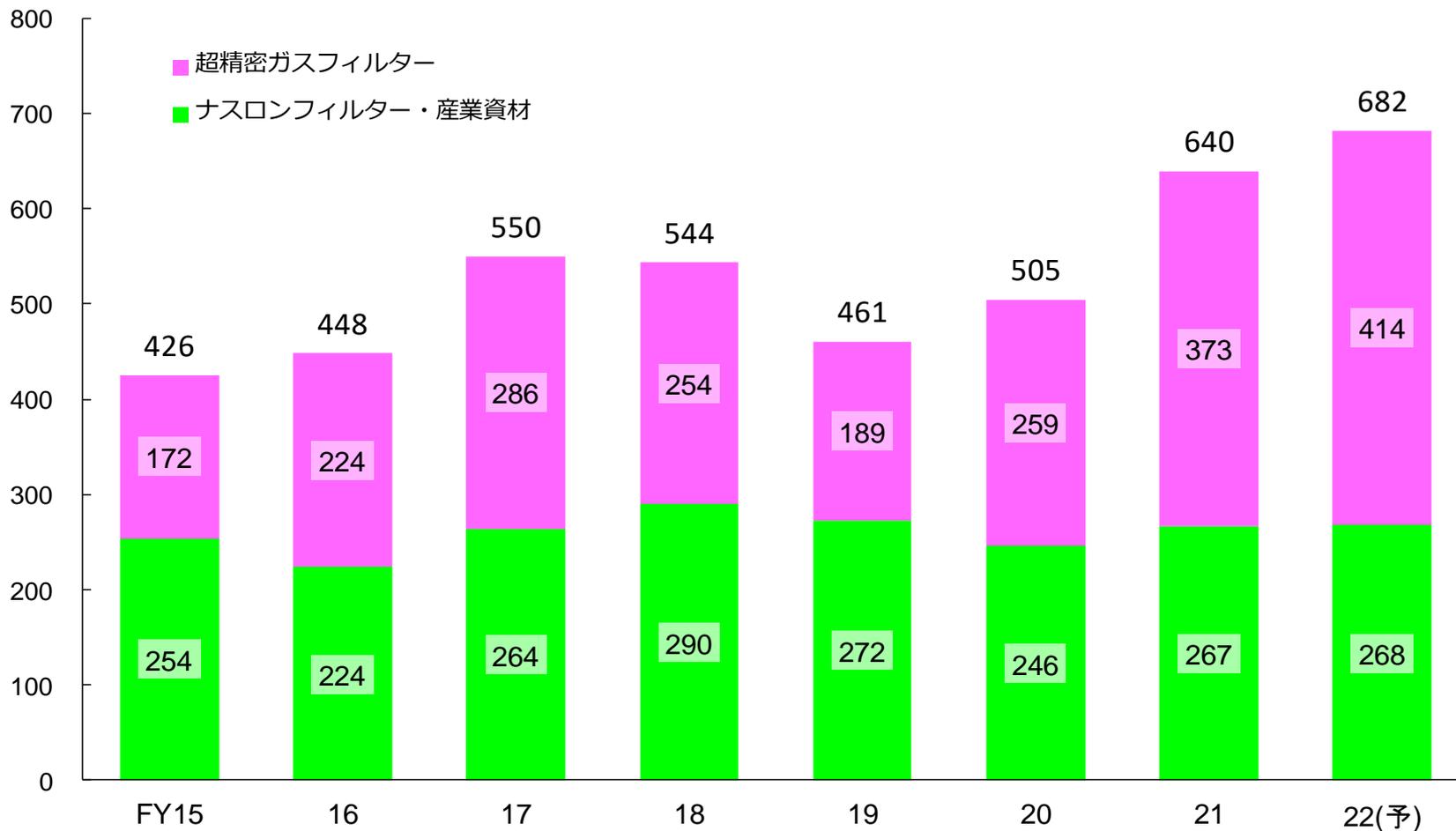


部門別売上高の見通し(ステンレス鋼線)



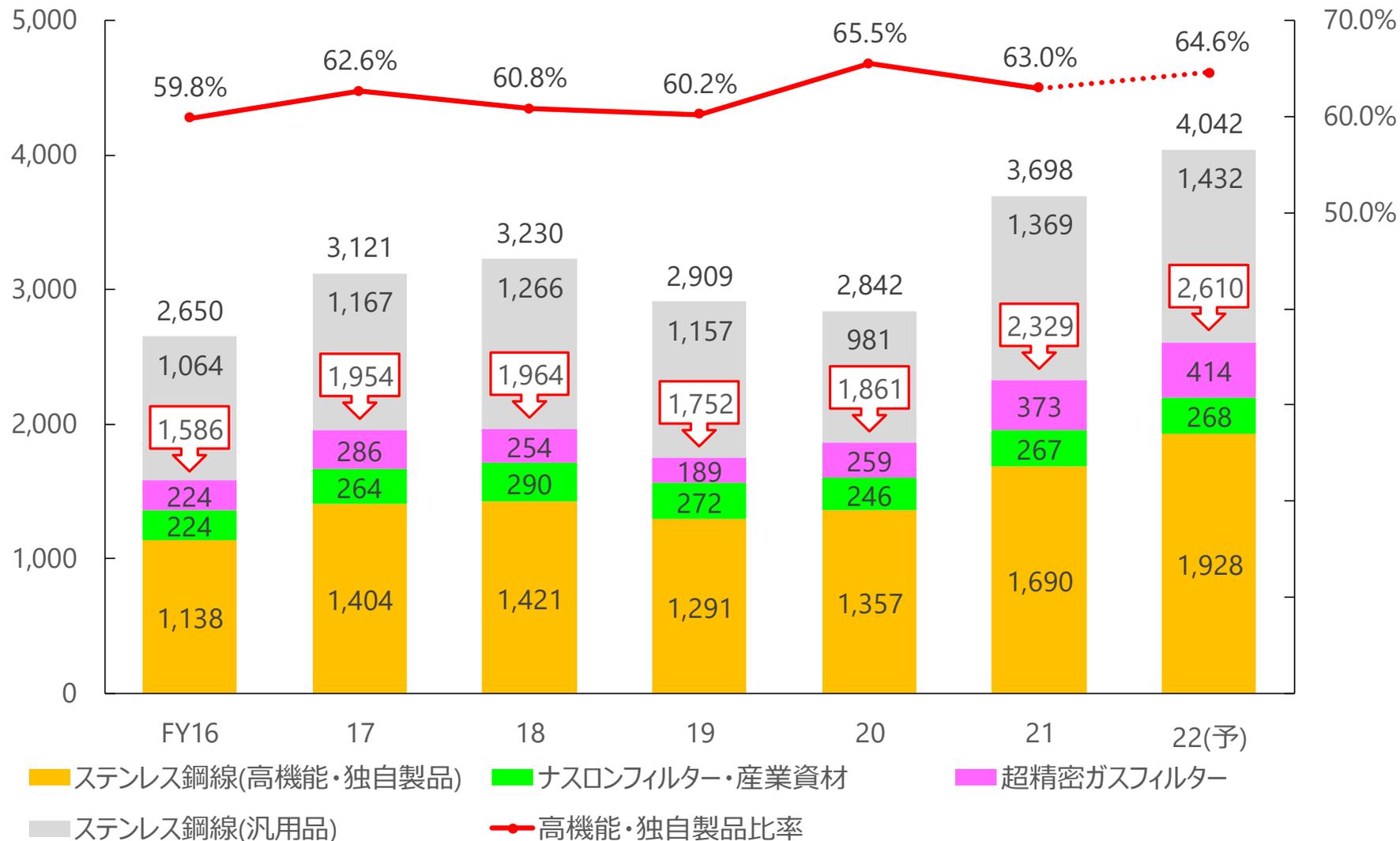
部門別売上高の見通し(金属繊維)

(百万円/月)



高機能・独自製品売上高の見通し

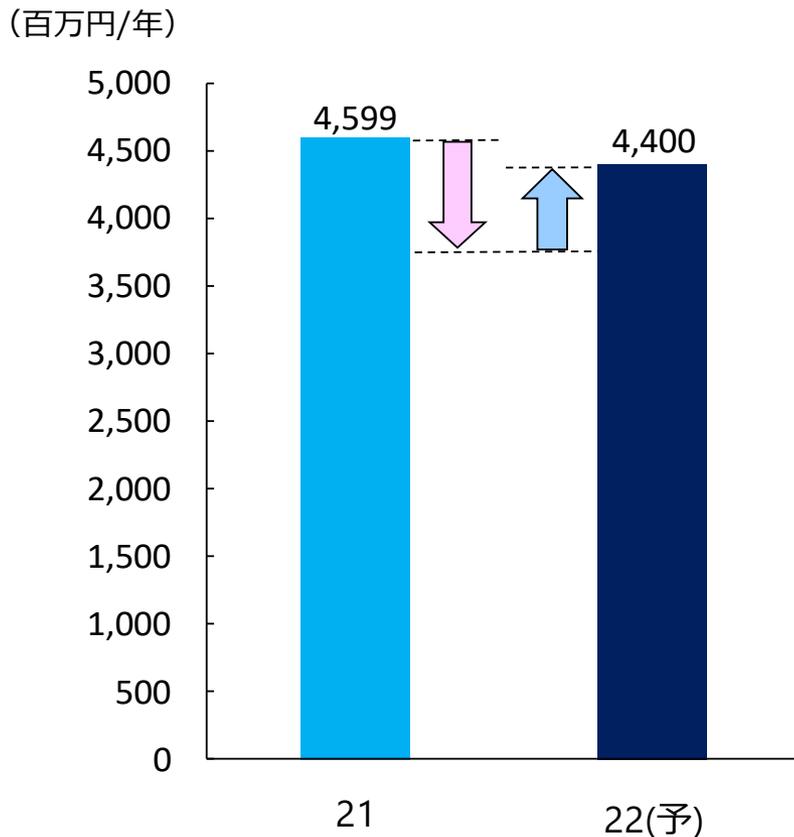
(百万円/月)



経常利益の変化要因(次期予想当期対比)

【ロッド価格の前提】

	Ni(\$ /lb)	為替(円/ \$)
21年度	9.3	113.4
22年度(予)	14.0	120.0



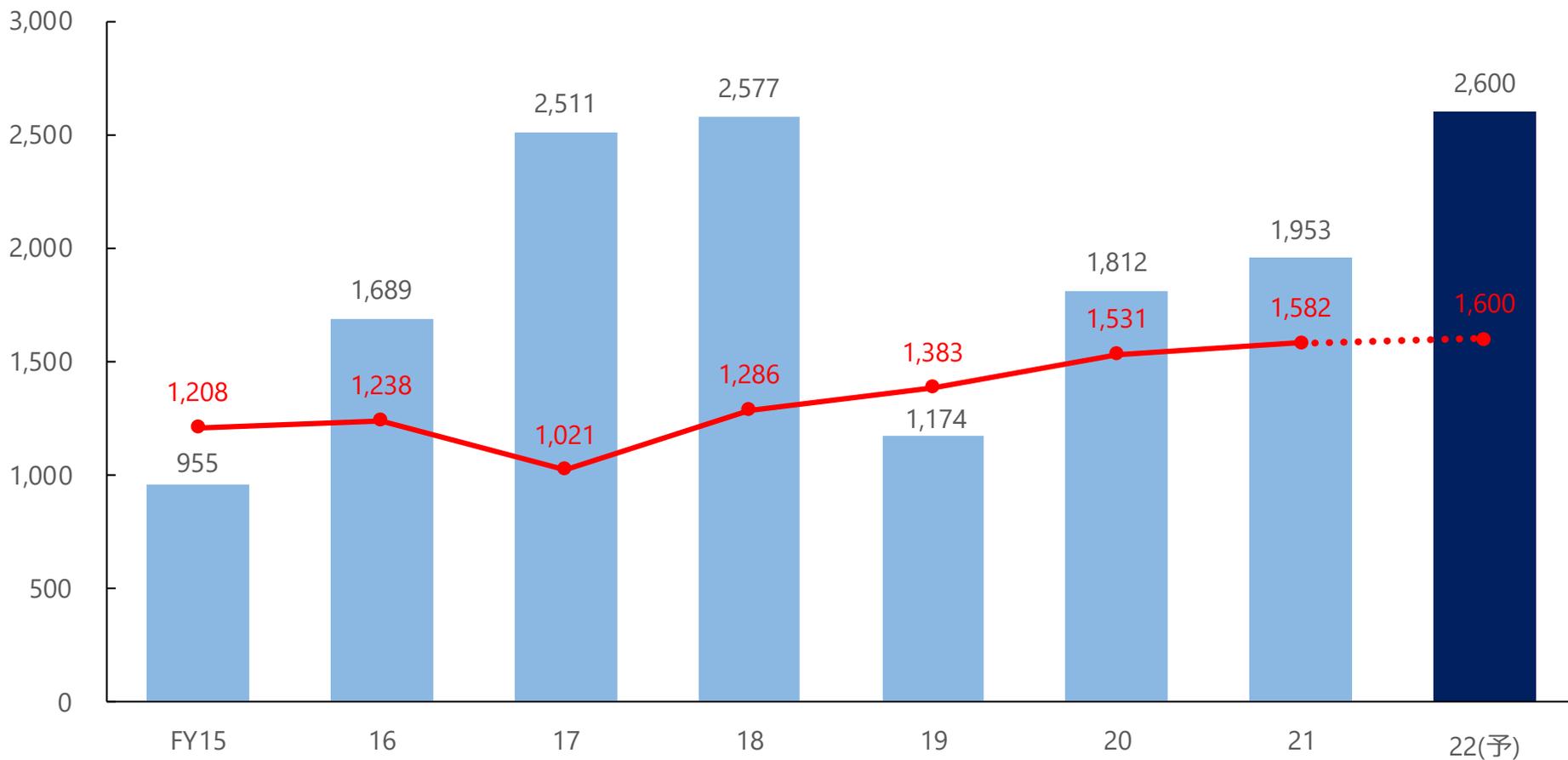
(百万円/年)

21年度経常利益		4,599	
対比変化	営業損益	Ni市況	- / +560
		数量変化等	▲ 600 / -
		内容差	- / +70
		固定費	▲ 226 / -
		合計	▲ 826 / +630
	営業外損益	▲ 3 / -	
22年度経常利益		4,400(▲199)	

設備投資・減価償却費の推移

(百万円/年)

■ 設備投資 (完工ベース) ● 減価償却費



	21年度		22年度(予想)	
	中間期	通期	中間期	通期
経常利益 (百万円)	2,473	4,599	2,200	4,400
当期純利益 (百万円)	1,740	3,177	1,540	3,080
配当 (円/株)	100	210	105	210
配当性向 (%)	35.2	40.5	41.8	41.8

[株主還元の考え方] 連結配当性向40%程度を目途に還元

日本精線リニューアル計画の継続・推進

- ☆ 東大阪工場 酸洗設備 第2期合理化計画の実行
- ☆ 枚方鋼線 極細線・ばね用材の機能能力増強
- ☆ 金属繊維製造 リフレッシュ投資（LF自動超音波導入、FB炉更新、リニューアル）
- ☆ タイ精線 Ni鍍金設備の立上げ、極細線増産投資

新製品開発と新市場開拓：サステナブル社会に貢献

- ☆ 極細線 さらなる細径化対応（シングル μm 開発） ～ 太陽光ソーラー発電効率向上
- ☆ 超精密ガスフィルター 性能向上と新製品開発 ～ 半導体製造装置の高性能化対応
- ☆ サステナビリティ成長分野 マーケティング
 - ✓ 情報通信 : 5G、IoT
 - ✓ 自動車 : CASE対応
 - ✓ 医療 : 低侵襲治療
 - ✓ その他 : 環境、エネルギー



(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。